

令和6年度 神戸市東灘区指定管理者選定評価委員会 会議録 令和5年度御影公会堂管理運営状況評価について

- 1 日時:令和6年8月9日(金) 9:55~10:35
- 2 場所:東灘区役所 3階31・32会議室
- 3 出席者:東灘区指定管理者選定委員会委員 3名

久保 はるか 委員 野邊 僚子 委員
橋寺 知子 委員

(事務局:吉井地域協働課課長、村上地域協働課係長、中田、古野)

4 内容:

○議題:令和5年度御影公会堂管理運営状況評価について

(橋寺委員):特に不明な点はないが、アンケートは建物見学に来た人も答えることはあるのか。

(村上係長):基本的には、貸室の利用者を対象に回答してもらっている。

(橋寺委員):例えばトイレが汚いという意見はタイミングの問題があるため、評価をあまり気にする必要はないのではないかと。貸室利用者と見学者で評価が異なることも考えられる。貸室利用の方だけでなく見学利用の方にも配慮できればよいと思う。

(久保委員):建物が登録有形文化財のため、それを見に来る見学者がいると思う。

(橋寺委員):見学者と利用者の線引きが難しい。

(久保委員):地下のレストラン利用者のトイレ使用や展示見学もある。多様な見学者が増えてきている。

(野邊委員):地元以外の利用者也増えているが、将来的に地元以外の利用者也増やしていきたいのか、あくまで地元密着型施設として使っていきたいのか、方向性はどちらか。

(村上係長):貸館利用施設として、稼働率向上を目指しつつ、見学者も見学をきっかけとして利用に結び付けていきたいと思っている。稼働率上げるためにも地元以外の方にも利用していただきたい。

(久保委員):稼働率を上げたいというところ以外は、受け身的な姿勢か。利用者を増やすのか、見学者を増やすのか、どちらの方向性なのか。

(村上係長):まずは知っていただきたい。今後ネット予約を広げて稼働率を上げたいという思いはある。

(久保委員):ネット予約はいつからか。

(村上係長):今年度に導入できればよいが、早ければ来年度導入できるように進めていきたい。

(野邊委員):掃除をする頻度を増やすと、その分利用料が上がるため、そこはトレードオフなところがある。どこかで意見を切っていくかといけないと思う。

(久保委員):使用料等の収入が増えた場合、余った分をどう使用するのか。

(村上係長):指定管理料は5年間一定でその中で管理運営していただく。

(古野): 使用料が指定管理者の収入になる訳ではない。指定管理施設の使用料の入り方は 2 パターンある。指定管理者に入る、もしくは神戸市に入る、のどちらか。御影公会堂は後者。

(橋寺委員): 指定管理者の人件費も指定管理料に含まれているのか。昨今、最低賃金が上昇しているが、指定管理料に人件費単価の変動を反映しているのか。評価には関係ない点で恐縮だが。

(古野): 指定管理者に確認したところ、変更契約の必要はないとのことだった。今後、必要あれば変更契約を検討することはあるかと思う。

(久保委員): 地域住民が愛着をもって利用、登録文化財として地域外の利用の 2 面がある。方向性をどちらに絞るという訳ではなく、需要に応じて対応しているという状況に思われる。令和 5 年度指定管理者の評価について、管理運営についての評価としては概ね良好である。接遇態度・清掃等については、利用者が増えていることに伴って出てきている課題と言える。それらを踏まえた評価になるかと思われる。野邊委員からもご指摘あったように清掃にも限界があるため、そういう点を踏まえて評価を出したい。評価については事務局と私で調整したものを委員のみなさまにご確認いただく形でよろしいか。

(橋寺委員、野邊委員): 問題ない

(久保委員): では以上で終了します。

終了後

(久保委員): 評価案の 3 行目、施設運営事業ではなく、管理運営事業ではないか。

(村上係長): 仰るとおり。訂正する。